



カスタネット通信9月号は、コミュニケーションについてのおはなしです。私たちは日常生活で家族、職場の同僚、友人と会話をします。買い物や食事に行ったら、店員さんとも会話をします。つまり毎日たくさんの人とコミュニケーションを取っています。では、難聴がある場合、毎日の会話、つまりコミュニケーションにどのような影響があるのか、ということを考えます。

## 会話の『絶対的な根本原理』と『規則』



会話の内容  
を理解する

会話の流れ  
を止めない



会話の絶対的な根本原理には左の2つがあり、これらが上手くバランスを取ることで会話が続いていきます。

難聴がある場合、これらの根本原理のうち一方しか実現しないことがあります。

会話の内容  
を理解する

会話の流れ  
を止めない



『会話の内容を理解する』ことを重視した場合、難聴のある人は会話の途中で対話者に何度も話の内容を確認し、話の流れを止めるため、**コミュニケーションの断絶(コミュニケーションブレイクダウン)**が起こる可能性があります。

会話の内容  
を理解する

会話の流れ  
を止めない



『会話の流れを止めない』ことを重視した場合、難聴のある人は会話の内容が理解できていなくても**分かった振り(はったり)**をすることになるため、最終的には話が伝わっておらず、“不誠実”なイメージをもたれる可能性があります。

□の中の天秤のようにバランスが崩れると、会話がスムーズに続かなくなります。



コミュニケーションブレイクダウンとは、聞き逃し・聞き誤りなどのために、会話が途中で続かなくなってしまうことです。コミュニケーション場面で、ある人が他の人の話を理解できない時に起こります。

会話を楽しむためには、上記の『根本原理』に加え、次のような**会話の規則**があります。

- ◆ **お互いの話**に興味を持つ
- ◆ 順番に**話者を交替**し、ひとりがずっと話さないようにする
- ◆ 誰もが話題の選択や、話の進行に携わる
- ◆ **次の話題に移る時**は前の話題と関連させる
- ◆ 言いたいことを伝えるのに**十分な情報**を提供する



これらの規則が上手く働かない場合も、会話が続かなくなる可能性があります。

誰が話している  
か分からない

何の話をしてい  
るか分からない

話題が変わって  
も分からない



家族

家族とのくだけた  
会話が少なくなる  
かもしれない



難聴の  
ある人

仕事で**自己効力感**や  
**自己肯定感**を損なう  
かもしれない



同僚・友人



## メモ 自己効力感・自己肯定感とは？

1月26日に放送されたNHKの「あさイチ」で、自己効力感と自己肯定感についてわかりやすく紹介されていました。番組によると、やればできる、自分はできると思えるのが**自己効力感**、ありのままでもいいと自分を認めるのが**自己肯定感**とのことでした。

自己効力感が高ければ高いほど、直面した困難さに立ち向かうときにより大きな揺るぎなさや忍耐強さとなります。聴覚リハビリテーションにおいては、コミュニケーションが困難な状況に難聴のある人が対処しようとする意欲、与えられた環境でコミュニケーションの応答能力を伸ばし実行できるという自信に関係します。

聞こえにくくなったことで、家族や同僚・友人との会話、仕事で困ることが生じ、これまでの自分ではなくなってしまったと考えるしまうことがあるかもしれません。これは自己肯定感が損なわれている状況です。難聴のある人が自己効力感や自己肯定感を損なわず、またコミュニケーションを取る時にコミュニケーションブレイクダウンが起きないように、あるいは起きてしまった時にそれを修復するために用いるのが、聴覚リハビリテーションの段階(カスタネット通信4月号、5月号をご参照ください)に含まれる、コミュニケーションストラテジーです。コミュニケーションストラテジーについては改めてお話ししたいと思います。

## 家族介護者教室



8月25日に大野台地域包括支援センターで行われた家族介護者教室で『補聴器と家族のつながり』と題したお話をしてきました。定員7名を超える参加者の方々に、耳の健康を守り“聞くことを楽しむ”ためのポイントと自分に合った補聴器を選び、活用するためのポイントをお伝えしました。聞こえや補聴器に関する講義に加え、補聴器の試聴や質問に答えるコーナーも用意し、1時間の家族

介護者教室は、あっという間にお開きの時間になりました。聞こえに悩み、難聴や補聴器について誰かに相談してみたいけど、なかなかその機会が無いという方が多くいらっしゃるのかもしれない、と感じました。今後もこのような機会があれば、地域の方々への聞こえ・補聴器啓発活動を続けていきたいと考えました。家族介護者教室の詳細は待合室の壁のポスターに記載しました。そちらも併せてご覧ください。

